

委託業務特記仕様書

第1条 目的

本仕様書は、徳島県東部県土整備局長（以下「甲」という。）が保管する「排水ポンプ車」の運転及び操作に関する業務を受託者（以下「乙」という。）に委託するにあたり、必要となる事項を定めたものである。

第2条 用途

排水ポンプ車の用途は、次のとおりとする。

- 1 排水ポンプ車の実運転操作
- 2 排水ポンプ車の操作訓練

第3条 業務実施範囲

当該業務の実施範囲は、次のとおりとする。

- 1 徳島県東部県土整備局<吉野川庁舎>管内
- 2 その他、甲が必要と認めた箇所

第4条 業務内容

甲が、乙に委託する業務の内容は、次のとおりとする。

なお、乙は、業務の実施にあたっては、道路車両運送法、道路交通法等車両の運行に係る関係法令及び甲の指示事項を遵守し、排水ポンプ車の導入目的及び用途を考慮の上、誠意をもって適切に遂行することとする。

また、車両の搬送を行う場合は、運行前点検を行うほか、運行後は「県有車両使用簿」に必要事項を記入すること。

業務内容については次のとおりである。

1 排水ポンプ車の実運転操作業務

(1) 運転

① 往路

乙は、甲が指定する目的地まで車両を搬送することとする。

なお、出発前には、目的地までの搬送及び目的地において実施される作業等が円滑に行われるよう、あらかじめ準備をしておくこと。

また、目的地の状況により人力によるポンプ等の設置が困難であると予想される場合は、クレーン車を準備し、車両とともに目的地まで搬送することとする。

② 目的地

乙は、甲が指定する場所に車両を駐車することとする。

なお、乙は、甲が必要と認めたときは何時でも甲の指示により車両を移動させることができるよう、体制を確保すること。

③ 復路

甲が指示した業務が完了した場合は、甲の指示により、乙は速やかに車両を車両基地へ搬送し安全に格納することとする。

なお、格納前に燃料の確認、使用した機器の点検、清掃、外装の洗車等を済ませておくこと。

(2) 設営

甲が指定する目的地に車両が到着したときには、乙は、甲が指定する職員の指示に従い、指定された位置に車両を駐車させた上、次の業務を行うこととする。

- ・ブルーシートの布設
- ・クレーン車の設置
- ・クレーン車による投光器の設置

- ・ポンプ、ホース等の設置
- ・ポンプの操作

(3) 撤収

甲が指示する業務が終了したのちは、速やかに次の業務を行うこととする。
また、「排水ポンプ車運転記録用紙」に必要事項を記入し、甲に提出することとする。

- ・クレーン車による投光器の撤去
- ・クレーン車の撤去
- ・ポンプ、ホース等使用した資機材の片づけ
- ・使用資機材の清掃
- ・車両の格納
- ・使用機器の点検

2 排水ポンプ車の操作訓練業務

毎年度、出水期前に排水ポンプ車の操作訓練を実施することとし、詳細については実施前に甲乙協議することとする。

なお、訓練の実施にあたっては、会場まで車両を安全に搬送し、到着後速やかに実施できるよう、あらかじめ準備しておくこと。

また、車両の搬送を行う場合は、運行前点検を行うほか、運行後は「県有車両使用簿」に必要事項を記入すること。

- ・車両の搬送
- ・クレーン車の設置
- ・クレーン車による投光器の設置
- ・ブルーシートの布設
- ・ポンプ、ホース等の設置
- ・出水時における実操作を想定したポンプの操作
- ・訓練終了後における使用機器の点検
- ・車庫への格納

3 排水ポンプ車の試運転業務

乙は、甲が指定する目的地まで車両を搬送することとする。

なお、出発前には、目的地までの搬送及び目的地において実施される作業等が円滑に行われるよう、あらかじめ準備をしておくこと。

乙は、甲が指定する場所に車両を駐車することとする。

甲が指示した業務が完了した場合は、乙は速やかに車両を車両基地へ搬送し、安全に格納することとする。

なお、格納前に燃料の確認、使用した機器の点検等を済ませておくこと。

第5条 業務遂行体制

- 1 乙は、安全な業務遂行の観点から、労働基準法、道路車両運送法、道路交通法等関係法令を遵守し、余裕をもって運転手、作業員等の手配等を行うこととする。
- 2 甲乙両者の連絡については、車両搭載の移動型無線機によるほか、携帯電話によることとする。
乙は、車両の運転業務に従事する者に対して、連絡用の携帯を常時携帯させ、甲との連絡に供することとする。
- 3 乙は、甲及び関係機関との連絡を密にし、緊急時の対応が迅速に行える体制を確保することとする。

第6条 緊急出動時の連絡体制等

- 1 乙は、甲が指定する職員から、緊急的な業務実施の要請があった場合、直ちに出動が可能な体制を確保しておくこととする。

- 2 乙は、緊急連絡体制を整備の上、甲に報告することとする。これに変更があった場合も、同様とする。

第7条 燃料及び消耗品の取り扱いについて

- 1 燃料は、使用后乙において補給を行う。
- 2 車両及び機器の使用により交換を必要とする消耗品がある場合には、乙において交換する。
- 3 上記の燃料及び消耗品に要する費用については県の負担とし、別途甲において支払うこととする。ただし、補給及び交換を行う前に補給先及び交換先について甲に協議することとする。

第8条 運転記録等

乙は、甲からの出動指示により排水ポンプ車を緊急出動した際は、別紙「排水ポンプ車運転記録用紙」により運転記録等を速やかに甲に提出することとする。

第9条 事故処理

乙は、業務の実施に当たって交通事故等が発生したときは、直ちにその状況を甲に報告するとともに、速やかに事故等の処理を行い、かつ、これに伴う一切の費用を乙が負担する。

第10条 資材価格高騰に対する特例措置

- 1 本業務は、資材価格高騰に対する特例措置の対象業務である。
- 2 本業務は、当初契約締結後において、設計単価の適用年月を、積算月から契約月へ変更するものとする。

第11条 その他

乙は、この仕様書に明記されていない事項であっても、車両の運行に際し必要となる事項については乙の責任において処理することとする。

〔別 紙〕

排水ポンプ車運転記録用紙

出動箇所	河 川 名				
	住 所				
出動等日時	出 動	年	月	日	時 分
	現 地 到 着	年	月	日	時 分
	ポンプ起動	年	月	日	時 分
	ポンプ停止	年	月	日	時 分
	車庫返納	年	月	日	時 分
出動業者名					
記 録 者	所 属	職	氏 名		
出 動 者					
クレーン車	種 類				
	稼働回数				回
	稼働時間	時間			分
使用資機材					
気象等 現場の状況					
機器等の 破損状況					
備 考					